

あんざい
旧安西家住宅は、江戸時代中期(約300年前)に建てられたと
推定される上総地方で最も大形の民家です。

くさじき
1981年(昭和56年)に木更津市指定文化財になり、翌年、市内
草敷地区に建てられていたものを解体し、移築・復元しました。

よせむね
屋根の形は4方向に傾斜する寄棟造りで、屋根の材料に
茅(ススキなどの総称)を使用した茅葺きです。

のき
壁に対して屋根がせり出している軒と呼ばれる所は、建物の
正面と座敷側だけ、せがい造りという見栄えの良い造りになって
います。

江戸時代(1603年～1868年頃)、安西家は村役人を勤めて
いたそうです。

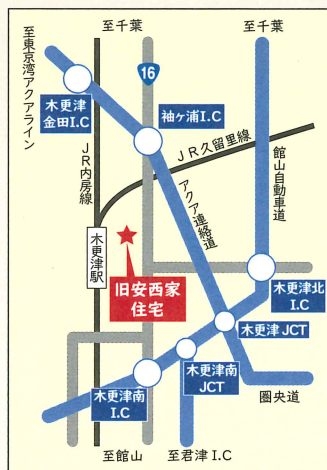


桃の節句



端午の節句

木更津市指定文化財 旧安西家住宅



開館時間 9時～17時

休館日 月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)
年末年始(12月28日～翌年1月4日まで)
その他(臨時に休館する場合があります。)

観覧料 無料



旧安西家住宅HP



旧安西家住宅
YouTube
2020年10月制作



郷土博物館
金のすずHP



郷土博物館
金のすずX

- ・JR木更津駅 太田山口から徒歩 20分
- ・東京湾アクアライン 袖ヶ浦ICから車で15分
- ・館山自動車道 木更津南ICから車で10分 木更津北ICから車で15分

木更津市指定文化財 旧安西家住宅

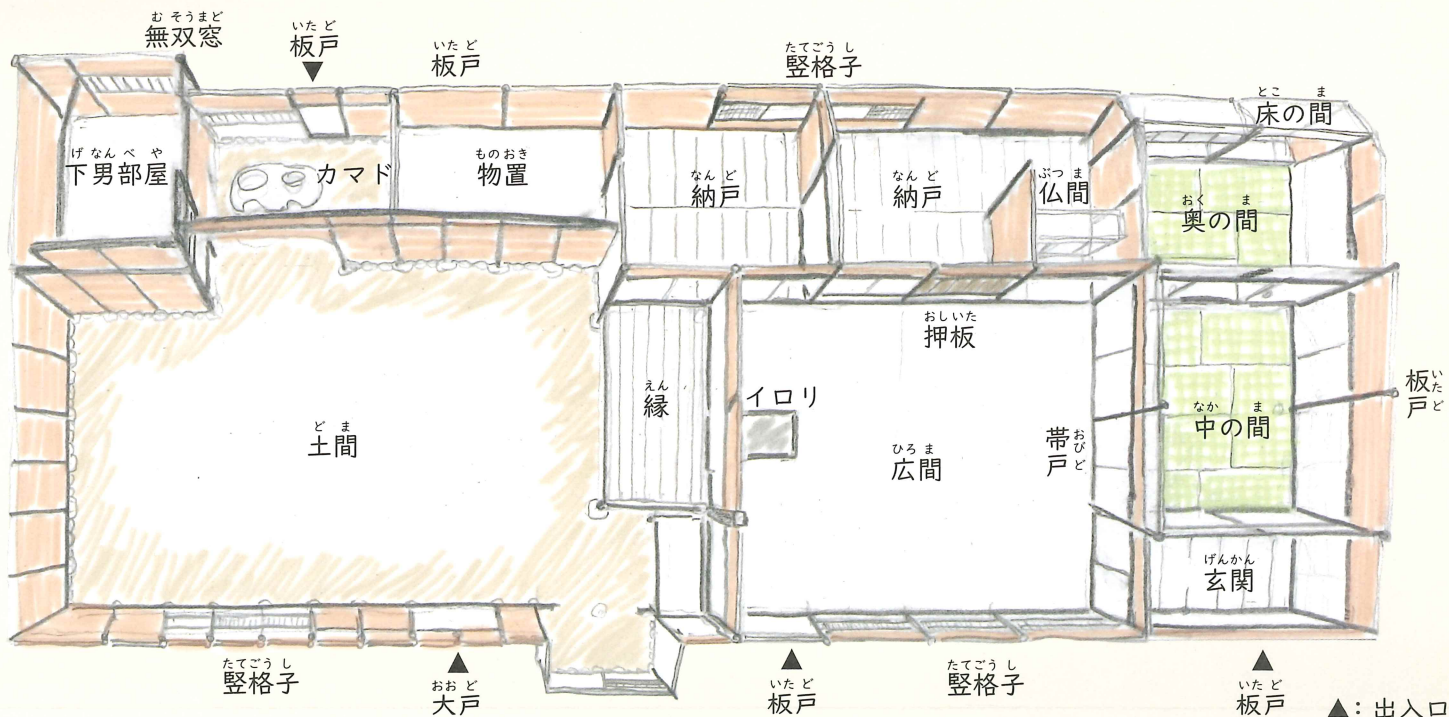
The Anza's Old House Kisarazu City-Designated Cultural Property

〒292-0044

千葉県木更津市太田二丁目16番2号(太田山公園内)

電話 0438(23)0011(木更津市郷土博物館金のすず)





旧安西家住宅 間取り図

特徴

建築当初は、家族が使う部屋のある「母屋」と炊事場・作業場である「土間」を別棟にした「分棟型」という構造であったと推定されます。その後、約70～80年後に「母屋」と「土間」が一体となった「直屋型」という現在のような姿に改造されたと考えられています。

座敷(「奥の間」「中の間」「玄関」)は普段は使わず、武士の来客があった時などに使われていたそうです。現在は置かれていませんが、式台と呼ばれる踏み台が「玄関」の外にあり、武士は「玄関」から入り「中の間」「奥の間」へと通されたようです。

また、「広間」の天井は竹を使った簀の子天井ですが、座敷は板を貼った棹天井になっており、このことから江戸時代の身分制度の一端を見ることができます。



大きさ

桁行(正面の幅) 23.978m
棟高(高さ) 7.950m
軒の出 0.424m

梁間(奥行) 8.982m
軒高 3.143m

平面積 218.782㎡

屋根面積 314.910㎡

奥の間(6畳+床の間)

中の間(8畳)

玄関(4畳)

仏間(3.5畳)

納戸(各8畳)

物置(6畳)

広間(24畳)

縁(4畳)

下男部屋(6畳)

土間(45畳)

施設の使用について

使用制限事項 使用目的が教育・文化的活動であること。
建物に毀損・汚損等を加えないこと。
最大43名まで。

申請方法 使用日の14日前までに所定の書式で郷土博物館金のすずへお申し込み下さい。書式は旧安西家住宅ホームページからダウンロードできます。許可決定通知書が交付されましたら、使用料をお支払いの上、使用できます。

使用可能時間 半日の場合: 午前9時～午前12時30分
午後1時～午後4時30分
全日の場合: 午前9時～午後4時30分
料金 半日: 2,160円 全日: 4,320円
(市外の方は、1.5倍となります。)

「旧安西家住宅」来館記念スタンプ